

各 位

上場会社名 東京産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 蒲原 稔
 (コード番号 8070 東証プライム)
 問合せ先責任者 執行役員企画本部長 浅田 泰生
 (TEL 03-5656-0364)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、下記の通り特別損失を計上する見込みとなりました。加えて最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 80,000	百万円 3,700	百万円 3,800	百万円 2,700	円 銭 104.12
今回修正予想(B)	65,000	3,000	3,300	500	19.27
増減額(B-A)	△15,000	△700	△500	△2,200	
増減率(%)	△18.8	△18.9	△13.2	△81.5	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	58,872	2,434	2,625	1,219	45.69

2023年3月期通期個別業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 75,000	百万円 3,500	百万円 3,700	百万円 2,500	円 銭 96.41
今回修正予想(B)	60,000	2,700	3,100	400	15.42
増減額(B-A)	△15,000	△800	△600	△2,100	
増減率(%)	△20.0	△22.9	△16.2	△84.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	54,535	2,299	2,590	1,329	49.85

修正の理由

(連結及び個別決算における特別損失の計上)

当社連結子会社開発 65 号匿名組合にて計画中の太陽光発電事業に関し、事業の見通しが不透明であることから、再生可能エネルギー事業に係る固定資産（建設仮勘定）について約 16 億円の特別損失を計上する見込みとなりました。なお、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益への影響額も約 16 億円と見込んでいます。

また、開発 65 号匿名組合における特別損失計上に伴い、当社は個別決算において投資有価証券の減損損失約 16 億円を特別損失として計上する見込みとなりました。なお、当該投資有価証券の減損損失は当社の個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結業績への影響はありません。

(連結及び個別決算における業績予想の修正)

売上、収益ともに想定を下回る結果となりましたが、これは電力事業においてはバイオマス燃料供給事業が燃料の調達先である東南アジアにおける水害などの影響を受けて調達が計画通り進まなかったこと、環境・化学・機械事業においては受注済の太陽光発電所工事の進捗が想定を下回ったこと及び新規案件の受注も計画を下回りました。生活産業事業においてはレジ袋などの包装資材の販売が想定よりも拡大しなかったことによるものです。

これらにより、当連結会計年度における売上高、営業利益、経常利益について、前回発表を下回るとともに、上記の通り開発 65 号匿名組合における特別損失計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表を下回る見込みです。

また上記の通り、業績が計画を下回ったこと及び特別損失の計上により、当期の個別決算における売上高、営業利益、経常利益、当期純利益についても、前回発表を下回る見込みです。

なお、配当につきましては、前回発表時と変わらず期末配当を一株当たり 15 円、年間では一株当たり 30 円を予定しております。

(注) 本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上